



作物体内の水分量を非破壊測定可能な
小型近赤外水分計の開発
株式会社エフオーテクニカ



栽培中の植物の水分量を、葉にセンサを当てるだけで瞬時に測定。

目で見て確認していた「植物のしおれ具合」を数値化し、今までにない栽培管理を可能にします。



非破壊携帯型水分計（試作品） 仕様

〈主な特徴〉

- ・近赤外線分光センサにより非破壊で水分量を計測
吸収波長：1940nm
- ・周辺温度変化の影響を受けない検出設計
- ・市販のスマートフォン・タブレット端末で操作
- ・軽量コンパクト、簡単操作

〈主な機能〉

- ・測定波長の変更機能（各種波長での測定可能）
- ・多様な植物や作物に対応可能（検量線変更機能により実現）
- ・GPSによる位置情報の表示・記録
- ・ランプ照度変更機能（測定部位に応じた照度設定が可能）
- ・測定データの書き込み、読み込みが可能

〈表示機能〉

- ・含水率、位置情報、センサー温度、波長、照度、測定値（センサ出力値）

〈開発オプション〉

- ・多種多様な成分量測定
＜糖、脂肪、アミノ酸、グルタミン酸、イノシン酸、グアニル酸、など＞
- ・簡易測定治具開発
- ・通信機能開発：スマート農業、IOT、WAGRIとの連携
- ・位置情報機能による「google maps」との連携 水分計測情報「water mapping data」の開発



Android smartphone

将来的な展開



〈お問い合わせ先〉

FOT 株式会社 **エフオーテクニカ**

Tel : 0985-72-7500 E-mail : k-sata@fot.co.jp (担当 : 佐田)



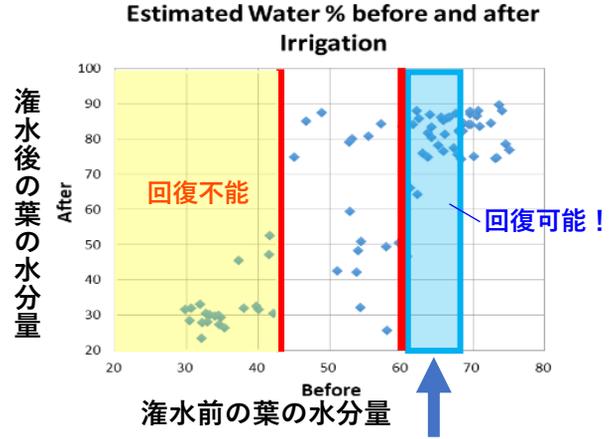
作物体内の水分量を非破壊測定可能な 小型近赤外水分計の開発

宮崎大学農学部 教授 西脇 亜也

作物栽培では土壌の水分計（電極式）を用いることが一般的ですが、**栽培作物の生体内の水分を非破壊で測定可能な水分計**はこれまでありませんでした。

そこで、**安価な照射型の近赤外分光器 (NIRS*)**を使った水分計の開発に着手しました。これは、ある波長の近赤外光の反射量が水分量に応じて減少することを利用した水分計です。

この技術を応用した最適灌水システムも考案中です。 *Near InfraRed Spectroscopy

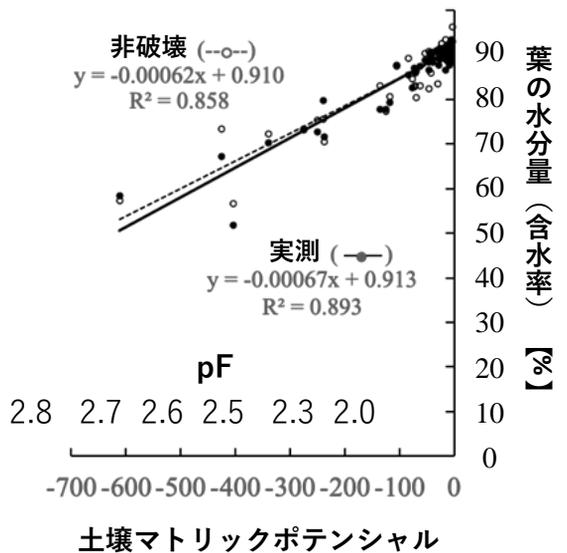
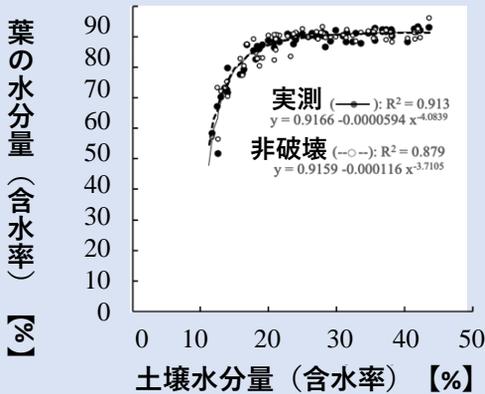


枯死を避けながら、水分ストレスを与えることが可能!

生きた植物が正確なpFメーターに!

葉の含水率は、土壌水分量の相関だけでなく、土壌の粒度などで変化する土壌マトリックポテンシャルと相関します。

葉の水分量を測定することで、土質に関係なく、土壌灌水の必要性がリアルタイムでわかります。



水を大切に使用したい場所で必要とされる技術を目指します

- ①乾燥地農業地域での灌漑・灌水 (地表面積の約41%、20億人以上が暮らしています)
- ②先進国での近代的な施設園芸・植物工場における自動灌水システム (電極式水分計での土壌水分測定・制御に替わる技術)
- ③果樹・果菜類の栽培 (糖度向上等)
- ④街路樹、植木、観葉植物



〈お問い合わせ先〉

国立大学法人宮崎大学 産学・地域連携センター

Tel : 0985 - 58 - 7946

E-mail : sangaku@of.miyazaki-u.ac.jp

会場全体MAP



マッチング施策①

オンラインを活用して、より多くの方にフェアの情報を発信することで、新たなマッチング機会を創出します！

- 出展ブース**
 - 各出展者がもつ魅力ある技術シーズを発信!
 - 出展ブース検索(カテゴリー・技術ジャンル・キーワード)
 - 各出展者の技術シーズの紹介
 - 資料ダウンロード
 - お問い合わせフォーム
- 出展者プレゼンテーション**
 - 会場で行われる、各出展者のプレゼンテーションの動画を会期後にアーカイブ配信。
- 基調講演・セミナー**
 - 農林水産・食品・技術開発等の最新情報や様々な取組事例を会期中にライブ配信。

マッチング施策②

コーディネーター

知見と経験豊かなコーディネーターが、来場者のニーズと出展者のシーズを結び付けます

来場者

- ビジネスプランを実現する技術シーズを探している
- ビジネスを発展させる研究パートナーを探している
- ビジネスプランを推進する技術パートナーを探している

出展者

- ユニークな技術シーズを持っている
- 商品化目前の技術シーズを持っている
- 商品化に向けて技術シーズを発展させたい

マッチング施策③

コーディネーターが常駐し、皆様のご要望を踏まえた出展者の紹介や具体的な技術相談等を通じ、出展者と来場者とのマッチングを支援いたします。お気軽にご相談ください！

マッチング施策④

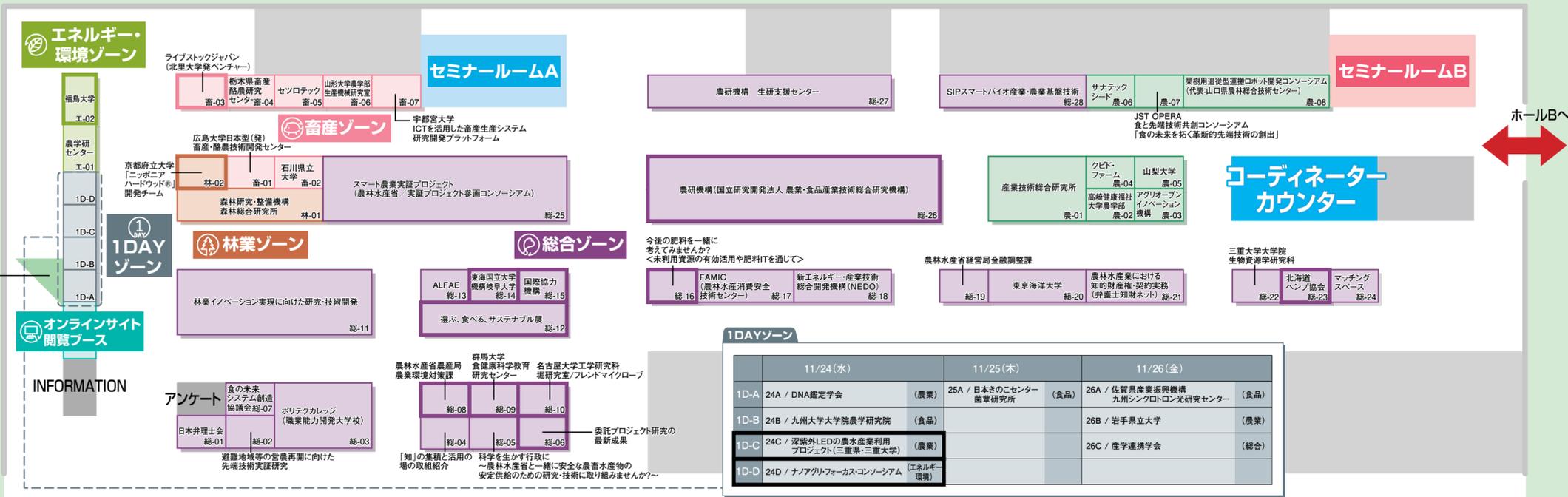
マッチングに向けて、コーディネーターがガイド役となり、特定のテーマに関するいくつかの出展者ブースを来場者と一緒に訪問します。※ツアー参加希望の方は、会場内コーディネーターカウンターまでお越しください。

日程	担当CD名	タイトル	
24日(木)	13:00~	(地独) 北海道立総合研究機構 中央農業試験場 加工利用部 部長 田村 吉史 札幌バイオ工場(株) アドバイザー 宮森 博康	農産物の機能性研究による機能性表示食品取得への取り組み
	15:00~	ニュウテックス ラボ 代表 十勝ブランドナッツ(同) 代表社員 田中 一郎 NPO法人近畿アグリハイテック 理事 農林水産省産学連携支援コーディネーター 西村 和彦	新しい飼養技術でどこまで畜産の生産性を上げられるか?
	13:00~	SUIKAコンサルティング事務所 代表 荻本 賢治 (株)リパネス 研究開発事業部 部長 川名 祥史	健康機能性食品開発のための新規機能性素材および開発プラットフォームの紹介
	15:00~	(株)リパネス 研究開発事業部 部長 川名 祥史 NPO法人フィスカパーブル代表理事/博士 水井 涼太	環境・生物多様性に考慮したアグリビジネス
25日(金)	13:00~	北海道大学 高等教育推進機構・特任教授 荒井 克俊	地域水産資源の活用に向けた新技術開発の現状と課題
	15:00~	(公社) 農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF) 佐藤 龍太郎	持続可能な農業生産に向けたスマート農業技術

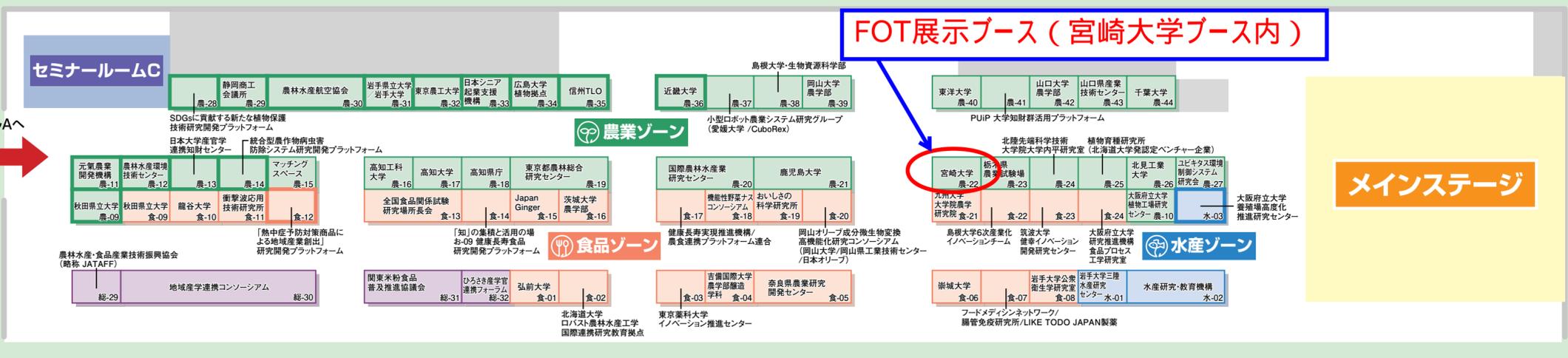
詳細はオンラインサイトをご覧ください <https://agribiz.maff.go.jp/>

お問合せ先: アグリビジネス創出フェア2021事務局(株式会社フジヤ内)
〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 豊洲プライムスクエア3F
TEL:03-3533-5522 FAX:03-5548-2826 E-mail:agri-ex@fujiya-net.co.jp

Aホール 会場MAP



Bホール 会場MAP



FOT展示ブース(宮崎大学ブース内)

メインステージ

出展者一覧

農業ゾーン	林業ゾーン	水産ゾーン	畜産ゾーン	総合ゾーン	エネルギー・環境ゾーン	食品ゾーン	水産ゾーン	1-DAY出展ゾーン	オンラインゾーン
農-01 (国研)産業技術総合研究所	林-01 (国研)森林研究・整備機構	水-01 (国)岩手大学三陸水産研究センター	畜-01 (国)岩手大学三陸畜産研究センター	総-01 日本弁理士会	エ-01 (株)農学研センター	食-01 (国)弘前大学	水-01 岩手大学三陸水産研究センター	24A (特非)DNA鑑定学会	オ-01 岡山県農林水産総合センター
農-02 (学)高崎健康福祉大学農学部	林-02 (公)京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム	水-02 (国研)水産研究・教育機構	畜-02 (公)石川県立大学	総-02 避難地域等の営農再開に向けた先端技術実証研究	エ-02 (国)福島大学	食-02 (国)北海道大学 ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点	水-02 大坂府立大学 養殖場高度化推進研究センター	24B (国)九州大学大学院農学研究院	オ-02 (独)佐世保工業高等専門学校
農-03 (公)秋田県立大学	林-03 セゾテクノ	水-03 (公)大坂府立大学養殖場高度化推進研究センター	畜-03 ライブストックジャパン(同) (北里大学発ベンチャー)	総-03 [知]の集積と活用場の取組紹介		食-03 (学)東京薬科大学	水-03 岩手大学三陸水産研究センター	24C 深紫外LEDの農水産業利用プロジェクト(三重県・三重大学)	オ-03 (国)信州大学農学部
農-04 (株)クビド・ファーム	林-04 山梨県立大学		畜-04 栃木県畜産酪農研究センター	総-04 [知]の集積と活用場の取組紹介		食-04 (学)吉備国際大学	水-04 岩手大学三陸水産研究センター	24D ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム (エネルギー・環境)	オ-04 ソメイヨシノ(株)研究所
農-05 サナテックシード(株)	林-05 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-05 山形大学農学部生産機械研究室	総-05 科学を生かす行政に~農林水産省と一緒に安全な農畜水産物の安定供給のための研究・技術に取り組みませんか?~		食-05 (学)奈良県農業研究開発センター	水-05 大坂府立大学 研究推進機構	25A (一財)日本きのこセンター 菌茸研究所	オ-05 三菱ケミカル(株)
農-06 JST OPERA食と先端技術共創コンソーシアム「食の未来を拓く革新的先端技術の創出」	林-06 宇都宮大学 ICTを活用した畜産生産システム研究開発プラットフォーム		畜-06 栃木県畜産酪農研究センター	総-06 委託プロジェクト研究の最新成果		食-06 (学)京都国際大学	水-06 大坂府立大学 研究推進機構	25B (一財)日本きのこセンター 菌茸研究所	オ-06 山形県農業総合研究センター
農-07 果樹用遺伝型選抜ロボット開発コンソーシアム(代表:山口県農林総合技術センター)	林-07 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-07 山形県畜産酪農研究センター	総-07 (一社)食の未来システム創造協議会		食-07 (学)吉備国際大学	水-07 大坂府立大学 研究推進機構	25C ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム (エネルギー・環境)	オ-07 (公)横浜国立大学
農-08 (公)秋田県立大学	林-08 山梨県立大学		畜-08 山形県畜産酪農研究センター	総-08 農林水産省産学農林環境対策課		食-08 (学)奈良県農業研究開発センター	水-08 大坂府立大学 研究推進機構	25D ナノアグリ・フォーカス・コンソーシアム (エネルギー・環境)	オ-08 次世代型畜産生産技術の研究開発プラットフォーム
農-09 (公)大阪府立大学植物工場研究センター	林-09 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-09 山形県畜産酪農研究センター	総-09 農林水産省産学農林環境対策課		食-09 (学)奈良県農業研究開発センター	水-09 大坂府立大学 研究推進機構	26A (公)佐賀県産業振興機構 九州シンクロナン光研究センター	オ-09 (公)長崎県立大学
農-10 (特非)元氣農業開発機構	林-10 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-10 山形県畜産酪農研究センター	総-10 (国)名古屋大学工学研究科 堀研究室/フレンドマイクロブ		食-10 (学)奈良県農業研究開発センター	水-10 大坂府立大学 研究推進機構	26B (公)岩手県立大学	オ-10 (畜産) 産学連携学会
農-11 (一社)農林水産環境技術センター	林-11 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-11 山形県畜産酪農研究センター	総-11 農林水産省産学農林環境対策課		食-11 (学)奈良県農業研究開発センター	水-11 大坂府立大学 研究推進機構	26C (公)岩手県立大学	オ-11 (国)山梨県立大学
農-12 日本大学産官学連携知財センター	林-12 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-12 山形県畜産酪農研究センター	総-12 農林水産省産学農林環境対策課		食-12 (学)奈良県農業研究開発センター	水-12 大坂府立大学 研究推進機構	26D (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-13 統合型農作物病虫害防除システム研究開発プラットフォーム	林-13 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-13 山形県畜産酪農研究センター	総-13 農林水産省産学農林環境対策課		食-13 (学)奈良県農業研究開発センター	水-13 大坂府立大学 研究推進機構	26E (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-14 エキタス環境制御システム研究会	林-14 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-14 山形県畜産酪農研究センター	総-14 (一社)ALFAE		食-14 (学)奈良県農業研究開発センター	水-14 大坂府立大学 研究推進機構	26F (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-15 マッチングスペース	林-15 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-15 山形県畜産酪農研究センター	総-15 (一社)ALFAE		食-15 (学)奈良県農業研究開発センター	水-15 大坂府立大学 研究推進機構	26G (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-16 (公)高知工科大学	林-16 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-16 山形県畜産酪農研究センター	総-16 農林水産省産学農林環境対策課		食-16 (学)奈良県農業研究開発センター	水-16 大坂府立大学 研究推進機構	26H (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-17 (国)高知大学	林-17 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-17 山形県畜産酪農研究センター	総-17 農林水産省産学農林環境対策課		食-17 (学)奈良県農業研究開発センター	水-17 大坂府立大学 研究推進機構	26I (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-18 高知県庁	林-18 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-18 山形県畜産酪農研究センター	総-18 農林水産省産学農林環境対策課		食-18 (学)奈良県農業研究開発センター	水-18 大坂府立大学 研究推進機構	26J (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-19 東京都農林総合研究センター	林-19 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-19 山形県畜産酪農研究センター	総-19 農林水産省産学農林環境対策課		食-19 (学)奈良県農業研究開発センター	水-19 大坂府立大学 研究推進機構	26K (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-20 国際農林水産業研究センター	林-20 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-20 山形県畜産酪農研究センター	総-20 農林水産省産学農林環境対策課		食-20 (学)奈良県農業研究開発センター	水-20 大坂府立大学 研究推進機構	26L (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-21 (国)鹿児島大学	林-21 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-21 山形県畜産酪農研究センター	総-21 農林水産省産学農林環境対策課		食-21 (学)奈良県農業研究開発センター	水-21 大坂府立大学 研究推進機構	26M (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-22 (国)宮崎大学	林-22 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-22 山形県畜産酪農研究センター	総-22 農林水産省産学農林環境対策課		食-22 (学)奈良県農業研究開発センター	水-22 大坂府立大学 研究推進機構	26N (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-23 栃木県農業試験場	林-23 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-23 山形県畜産酪農研究センター	総-23 農林水産省産学農林環境対策課		食-23 (学)奈良県農業研究開発センター	水-23 大坂府立大学 研究推進機構	26O (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-24 (国)北陸先端科学技術大学院大学 内平研究室	林-24 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-24 山形県畜産酪農研究センター	総-24 農林水産省産学農林環境対策課		食-24 (学)奈良県農業研究開発センター	水-24 大坂府立大学 研究推進機構	26P (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-25 (株)植物育種研究所(北海道大学発認定ベンチャー企業)	林-25 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-25 山形県畜産酪農研究センター	総-25 農林水産省産学農林環境対策課		食-25 (学)奈良県農業研究開発センター	水-25 大坂府立大学 研究推進機構	26Q (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-26 (国)北見工業大学	林-26 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-26 山形県畜産酪農研究センター	総-26 農林水産省産学農林環境対策課		食-26 (学)奈良県農業研究開発センター	水-26 大坂府立大学 研究推進機構	26R (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-27 エキタス環境制御システム研究会	林-27 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-27 山形県畜産酪農研究センター	総-27 農林水産省産学農林環境対策課		食-27 (学)奈良県農業研究開発センター	水-27 大坂府立大学 研究推進機構	26S (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-28 SDGsに貢献する新たな植物保護技術研究開発プラットフォーム	林-28 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-28 山形県畜産酪農研究センター	総-28 農林水産省産学農林環境対策課		食-28 (学)奈良県農業研究開発センター	水-28 大坂府立大学 研究推進機構	26T (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-29 静岡商工会議所	林-29 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-29 山形県畜産酪農研究センター	総-29 農林水産省産学農林環境対策課		食-29 (学)奈良県農業研究開発センター	水-29 大坂府立大学 研究推進機構	26U (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-30 (一社)農林水産航空協会	林-30 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-30 山形県畜産酪農研究センター	総-30 農林水産省産学農林環境対策課		食-30 (学)奈良県農業研究開発センター	水-30 大坂府立大学 研究推進機構	26V (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-31 (公)岩手県立大学(国)岩手大学	林-31 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-31 山形県畜産酪農研究センター	総-31 農林水産省産学農林環境対策課		食-31 (学)奈良県農業研究開発センター	水-31 大坂府立大学 研究推進機構	26W (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-32 (国)東京農工大学	林-32 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-32 山形県畜産酪農研究センター	総-32 農林水産省産学農林環境対策課		食-32 (学)奈良県農業研究開発センター	水-32 大坂府立大学 研究推進機構	26X (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-33 (一社)日本シニア起業支援機構	林-33 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-33 山形県畜産酪農研究センター	総-33 農林水産省産学農林環境対策課		食-33 (学)奈良県農業研究開発センター	水-33 大坂府立大学 研究推進機構	26Y (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-34 (国)広島大学 植物拠点	林-34 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-34 山形県畜産酪農研究センター	総-34 農林水産省産学農林環境対策課		食-34 (学)奈良県農業研究開発センター	水-34 大坂府立大学 研究推進機構	26Z (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-35 (株)信州TLO	林-35 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-35 山形県畜産酪農研究センター	総-35 農林水産省産学農林環境対策課		食-35 (学)奈良県農業研究開発センター	水-35 大坂府立大学 研究推進機構	26AA (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-36 (学)近畿大学	林-36 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-36 山形県畜産酪農研究センター	総-36 農林水産省産学農林環境対策課		食-36 (学)奈良県農業研究開発センター	水-36 大坂府立大学 研究推進機構	26AB (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-37 小型ロボット農業システム研究グループ(国)愛媛大学/(株)CuboRex)	林-37 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-37 山形県畜産酪農研究センター	総-37 農林水産省産学農林環境対策課		食-37 (学)奈良県農業研究開発センター	水-37 大坂府立大学 研究推進機構	26AC (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-38 (国)島根大学 生物資源科学部	林-38 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-38 山形県畜産酪農研究センター	総-38 農林水産省産学農林環境対策課		食-38 (学)奈良県農業研究開発センター	水-38 大坂府立大学 研究推進機構	26AD (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-39 (国)岡山大学 農学部	林-39 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-39 山形県畜産酪農研究センター	総-39 農林水産省産学農林環境対策課		食-39 (学)奈良県農業研究開発センター	水-39 大坂府立大学 研究推進機構	26AE (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-40 (学)東洋大学	林-40 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-40 山形県畜産酪農研究センター	総-40 農林水産省産学農林環境対策課		食-40 (学)奈良県農業研究開発センター	水-40 大坂府立大学 研究推進機構	26AF (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-41 PUIP 大学知財群活用プラットフォーム	林-41 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-41 山形県畜産酪農研究センター	総-41 農林水産省産学農林環境対策課		食-41 (学)奈良県農業研究開発センター	水-41 大坂府立大学 研究推進機構	26AG (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学
農-42 (国)山口大学農学部	林-42 京都府立大学「ニッポニアハードウッド®」開発チーム		畜-42 山形県畜産酪農研究センター	総-42 農林水産省産学農林環境対策課		食-42 (学)奈良県農業研究開発センター	水-42 大坂府立大学 研究推進機構	26AH (公)岩手県立大学	オ-12 (国)香川大学

宮崎大学

ゾーン一覧

- 農業
- 林業
- 水産
- 畜産
- 食品
- エネルギー・環境
- 総合
- 1-DAY出展
- オンライン

環境保全・持続可能性に係る出展者

Aホール・Bホール 会場MAP 表記箇所

「大枠登録」 表記箇所

「各ゾーンの薄いカラーベース」 表記箇所

宮崎大学 展示ブース内の出展情報 研究内容 1～3

Ruribus Creation Fair 2021
アグリビジネス創出フェア

東京ビッグサイト 青海展示棟 2021年11月24日(水) ≫ 26日(金)
オンラインサイト 2021年9月24日(金) 公開 ≫ 2022年1月26日(水)

主催：農林水産省

マイページ

ログアウト

関係概要

出展ブース

メインステージ
講演・表彰・セミナー

セミナー

出展者プレゼンテーション

コーディネーター

会場マップ

アグロイノベーション



(国)宮崎大学

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/crcweb/>

小問番号 農-22



作物体内水分量の非破壊水分計・産業動物感染症の受託検査・木材由来ノルリグナン類

①作物体内の水分量を非破壊測定可能な小型近赤外水分計の開発：農学部フィールド科学教育研究センター教授 西脇亜也 ②産業動物リサーチセンターによる産業動物感染症の受託検査と活用例：産業動物防疫リサーチセンター 准教授 目堅博久 ③木材人工乾燥廃液から回収されるノルリグナン類：農学部森林緑地環境科学科教授 亀井一郎

研究内容 1

作物体内の水分量を非破壊測定可能な小型近赤外水分計の開発

技術ジャンル

環境保全・生物多様性等（ゼロエミッション、気候変動対策、農業土木・気象等）・ICT・IoT（センシング・AI・ビッグデータ解析等）・土壌・肥料・水管理等・生産（栽培・飼育・増養殖・植物工場等）

出展内容

ハンディタイプ（スマホ型）の試作機で、植物の葉の水分量計測デモを実施します。この技術の応用展開を含め、技術概要をパネル等で紹介します。



商品化・事業化のイメージ	現在、ハンディタイプの水分計測装置を共同研究先企業と開発中です。「植物体そのものの水分を計測する」という今までにないコンセプトの装置ですので、生産者の皆様がどのようなシーンで利用できるか、といった現場ユーザーのニーズを聞きながら、製品開発を具体化させていきたいと考えています。
マッチング目的	<ul style="list-style-type: none"> 製品化のため 研究成果の評価を受け、改良点を把握するため ニーズ側（企業等）との情報交換
マッチング希望相手	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関 加工業 生産者 商社

研究内容 2

宮崎大学・産業動物防疫リサーチセンターによる 産業動物感染症の受託検査と活用 例：宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター 検査部門

技術ジャンル	環境保全・生物多様性等（ゼロエミッション、気候変動対策, 農業土木・気象等）・病虫害防除（ウイルス対策等を含む）・産学官連携・研究支援（コンサルティング、知的財産戦略等を含む）
出展内容	宮崎大学産業等リサーチセンターは、産業動物防疫に関する教育・研究の拠点として国内外の畜産基盤の安定化に寄与する研究に取り組んでいます。当センターで実施している産業動物の受託検査を紹介します。 https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/
商品化・事業化のイメージ	牛白血病・牛乳房炎・小型ピロプラズマ原虫等、産業動物の細菌・ウイルス・原虫の受託検査を実施しています。
マッチング目的	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究相手を見つけるため ニーズ側（企業等）との情報交換 研究成果の評価を受け、改良点を把握するため
マッチング希望相手	<ul style="list-style-type: none"> 研究機関 生産者 医学・薬学 その他

研究内容 3

木材人工乾燥廃液から回収されるノルリグナン類

技術ジャンル	環境保全・生物多様性等（ゼロエミッション、気候変動対策, 農業土木・気象等）・持続可能な農業生産（化学農業・肥料の低減、有機農業等）・加工・利用・分析技術・流通・地方創生・地域活性化・6次産業化（地域資源の活用等を含む）・新素材
	木材の蒸気乾燥時に大量の着色廃液が排出されます。この廃液の内容成分は主

出展内容	に木材抽出成分ですが、廃液の黒色化を防ぐ技術を開発しました。木材の抽出成分には様々な生理活性の存在が報告されています。廃液の脱色処理と同時に回収される木材成分（ノルリグナン類）の新規用途を探索しています。
商品化・事業化のイメージ	・染色剤としての利用・抗酸化活性等の機能性の活用 製材事業者様の廃液処理のご相談にも応じます。
マッチング目的	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px 15px;">共同研究相手を見つけるため</div> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px 15px;">技術の移転先を見つけるため</div> </div> <div style="background-color: #4CAF50; color: white; border-radius: 10px; padding: 5px 15px; margin-top: 5px;">ニーズ側（企業等）との情報交換</div>
マッチング希望相手	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #FFEB3B; border-radius: 10px; padding: 5px 10px;">研究機関</div> <div style="background-color: #FFEB3B; border-radius: 10px; padding: 5px 10px;">加工業</div> <div style="background-color: #FFEB3B; border-radius: 10px; padding: 5px 10px;">生産者</div> <div style="background-color: #FFEB3B; border-radius: 10px; padding: 5px 10px;">その他</div> </div>

資料のダウンロード

②産業動物リサーチセンターによる産業動物感染症の受託検査と活用例：産業動物防疫リサーチセンター 准教授 目堅博久
 ③木材人工乾燥廃液から回収されるノルリグナン類：農学部森林緑地環境科学科 教授 亀井一郎
 に関する資料を提供します。

- ①あなたの地域でも牛白血病（BL）対策を始めませんか？
- ②宮崎大学・産業動物リサーチセンターによる産業動物感染症の受託検査と活用例
- ③木材人工乾燥廃液から回収されるノルリグナン類

資料①
ダウンロード



資料②
ダウンロード



資料③
ダウンロード



お問い合わせ

名前

団体名

部署

メールアドレス

件名

内容 研究についての質問 WEBによる相談希望 対面での相談希望 その他

お問い合わせ内容を記入してください。（必須）



お問い合わせを送信する

出展者情報

お問い合わせ先	宮崎大学 産学・地域連携センター
住所	宮崎県宮崎市学園木花台西1-1
TEL	0985-59-7946
FAX	0985-58-7793
URL	http://www.miyazaki-u.ac.jp/crcweb/

[▶ お問い合わせ](#) [▶ プライバシーポリシー](#)



アグリビジネス創出フェア facebook

過去サイトへのアクセス

Copyright© 2021 Agribusiness Creation Fair Secretariat.
アグリビジネス創出フェア事務局（株式会社フジヤ内）